

# ロシア 東欧 経済速報

発行 ロシア東欧貿易会 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル 郵便番号104 電話 (2551) 6215~9  
ロシア東欧経済研究所 [購読料・送料共前納 1ヶ月-1,500円 1年-18,000円]

1997年(平成9年)10月15日 No.1071

## 目次

ロシアの変革はウラルから始まる.....	1
—ロッセリ・スヴェルドロフスク州知事インタビュー—	
キーパーソン.....	6
エリツイン大統領、銀行家たちを取りなす/6	
チュバイス氏が「1997年を代表する蔵相」に輝く/7	
ホームページ拝見(6) オネクシム銀行.....	7
統計速報.....	8
1997年1~8月の日本の対CIS・東欧主要国貿易/8	
データフラッシュ/8	
CIS諸国通貨の最新為替レート.....	8

## ロシアの変革はウラルから始まる

### —ロッセリ・スヴェルドロフスク州知事インタビュー—

#### はじめに

先頃、ロッセリ知事を団長とするロシア・スヴェルドロフスク州代表団が訪日し、当会とロシア通商代表部の共催による代表団プレゼンテーションが開催された。本誌ではこの機会に、ロッセリ知事との単独インタビューに成功したので、今回の速報ではその模様をお届けする。

ロッセリ知事と言えば、州の権限を民族共和国と同等なレベルに高めるべきだと主張し、1993年に「ウラル共和国」の創設を唱えてエリツイン大統領に解任された経歴の持ち主である。しかし、1995年8月の直接選挙で官選知事を敗って返り咲きを果たし、これ以降エリツイン政権は、権限拡大を求める地方の声を最大限尊重せざるをえなくなったという経緯がある。

今回のインタビューでもロッセリ知事は、地方分権こそがロシア再生のカギであるという確信を、率直に吐露している。また、中央政財界の派閥間抗争とは一線を画し、州およびウラル地域での仕事に地道に取り組んでいく構えを示している。その一方で、自らが主宰する「ウラル変革」運動を基盤に、国政への参入を視野に入れていることもうかがわせた。ロシアの変革はウラルから始まるのだという、知事の強い自負が感じ取れたインタビューであった。